



R4. 8. 1 発行

真夏の暑さにも負けず、元気いっぱい遊んでいる子どもたち。歩行やつたい歩き、ハイハイ、お座りなど様々な移動手段を身に付け、気になった玩具を目指して活発に保育室内を移動し身体を動かしています。

さて、気温が高くなり沐浴や水遊びが本格的に始まりました。まずは室内の沐浴から始めてみると、汗を流す気持ちよさを感じる子ども、シャワーに興味津々でホースを掴もうとする子ども、足をバタバタと動かす子どもなど様々な姿が見られました。慣れてきたところでテラスへ出て、1人用プールやタライに入り水遊びも始めました。水の感触や冷たさに驚き泣いてしまう子どももいましたが、体験するうちに徐々に慣れ、今では水面をバシャバシャと激しくたたき、水しぶきが顔にかかっても泣くことなく嬉しそうにする姿も見られています。引き続き体調や熱中症に配慮しながら、夏の遊びを通して水の心地よさや楽しい思いを感じていけるようにしていきます。



○ 今月のねらい ○

*安心できる環境の中で保育者と室内で遊んだり、湯水遊びを楽しむ。

『みてみてっ!』

1人たっちや歩行、つかまり立ちが出来た時、玩具の音が鳴った時、型はめが入った時など、「みてみてっ!できたよ!」と言いたそうな得意げな表情を見せながら保育者を見つめる子どもたち。「できたね、すごいね」と声を掛けられると満足そうにしています。子どもの思いを受け留め代弁し、子どもたちと楽しい思いを共有する中で、より良い関係を築いていきます。

○活動内容○

- ・ 感触遊び
- ・ (水、寒天、水風船、泡、氷)
- ・ 巧技台遊び
- ・ 指先遊び
- ・ (ぽっとな落とし、型はめ、シール剥がし)

